

### 三期目にあたり 更なる飛躍の年に…



愛南町長 清水 雅文  
まさひこ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年十月の町長選挙におきましては、前回に続いての無投票当選という栄誉をいただきましたことは、ひとえにこれまでの八年間、議員各位のご理解はもとより職員とともに取り組んで参りました各種事業や施策が、町民の皆さまに一定の評価を得たからこそ賜物であり、改めて初心を忘れることなく、謙虚に、

バランスのとれた町政運営を心がけていかなければならないと気を引き締めているところであります。

昨年は、何と申ししても五月に役場新庁舎での業務を開始し、九月には中村知事にも出席をいただき新築では中四国で初となる県との合同庁舎としての開所式を行うことができました。今では外構工事も終了し、前面の修景に彩られた新庁舎は一段と映え、来庁される多くの皆さまからは「きれいになりましたね」の言葉をいただきながら、名実ともに町民誰もの自慢のシンボルとなるよう努めていきたいと心新たにしているところであります。

先般の十二月議会でも、私の三期目に向けての思い等につきましては、申し上げたところでありますが、これまでの八年間で積み上げてきたことをベースに、さらに充実進化させていかなければならないと考えているところであります。

まず「安心安全なまちづくり」につきましては、南海トラフ巨大地震に対するハード・ソフト両面からの切れ目のない防災減災対策は、とりわけ重要な課題であります。

すでに、新消防庁舎に役場新庁舎

と災害時の司令塔となる二つの拠点施設が完成し、さらには老朽化を懸念しておりました防災行政無線のデジタル化につきましても、平成二十九年年度の事業完成に向け、着実に取り組んでいるところであります。が、究極の安心安全対策となる高速道路の早期延伸や医師確保の問題についても、引き続き関係機関等に、強く働きかけることで実現に向け努力していききたいと考えております。

次に「福祉の充実」につきましては、新たに展開している子育て支援の各種施策の推進に加え、高齢者福祉の充実を図っていかなければならないと強く感じております。特に、介護保険制度の改正により、特別養護老人ホームに入所が叶わなくなつた高齢者に対し、何とか入所できる施設の整備ができないものか、お年寄りの方が晩年を明るく楽しく穏やかに暮らしていけるようなきめ細やかな対策を喫緊の課題として取り組んでいきたいと考えております。

さらには、「スポーツ・教育・文化の創造」につきましては、カウントダウンが始まっているえひめ国体の成功はもとより「新町建設計画」の重点施策の中で、唯一手がけられ

ていない「住民集いの館」を図書館と捉え、全ての世代の方々が集い、憩い、学ぶことのできる生涯学習の拠点施設を実現させたいと考えております。

最後に、「産業振興と地域の活性化推進」につきましては、愛南町の屋台骨でもある第一次産業全体の底上げを図りながら、「ヒト・モノ・カネ」が持続的に流入または創出できるような仕組みづくりを行うことで、地域の発展と住民の生活をより豊かなものにしていきたいと考えております。

これからの四年間、私もこれまで以上にフットワークを活かした行動力を発揮して参りますので、町民の皆さまには、引き続き温かいご指導、ご支援を賜りまして、元氣と愛顔あふれる愛南町づくりのために、一層のご協力をよろしくお願い致します。

本年が町民の皆さまにとりましても、幸多き飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

